

令和7年12月12日

伊勢湾貧酸素情報（第7報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

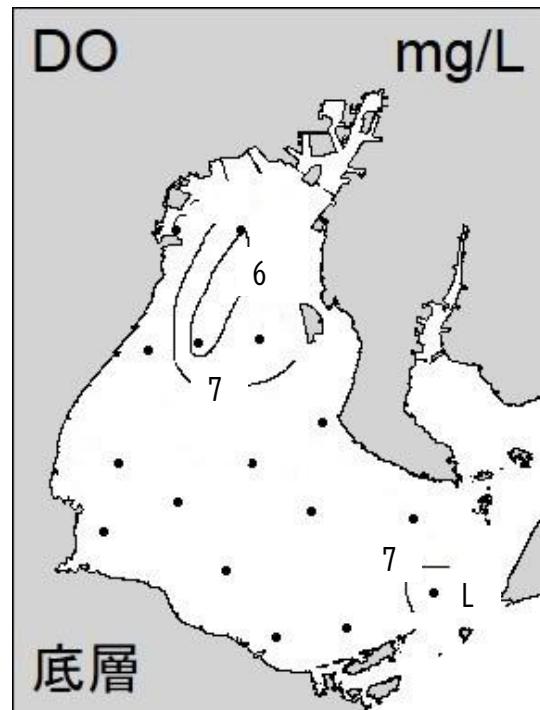
これまで伊勢湾の底層に形成されていた2mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。

12月11日の調査結果

12月11日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で13.6~15.3°C、10mで14.3~15.5°C、底層で14.4~17.2°Cの範囲にあり、表層は平年並、10m及び底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.0~8.4mg/L、10mで7.2~8.3mg/L、底層で5.0~7.9mg/Lの範囲にあり、表層、10m、底層共に平年並となっていました。

今回の観測では、貧酸素水塊は消滅しており、上下層の海水の混合も進んでいたことから、今期の貧酸素水塊の発生は終息したものとみられます。



底層貧酸素水塊分布図